



# 学校だより



福島県立大笹生支援学校  
NO.5 R3.3.1

## 今年度を振り返って

保護者の皆様、地域の皆様、大笹生学園及び関係機関の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

今年度は、コロナ禍の中で新しい生活様式に則り、教育活動の実施方法を見直すことも多く、児童生徒にとっては変化の多い1年であったと思います。3月から2度の臨時休業を経て、学校が果たす役割を改めて考える機会となりました。5月末に学校が再開した時の児童生徒の笑顔を見て、学校はかけがえのない学びの場であるということ改めて感じました。そして、「コロナ禍だから中止する」ということではなく、「これだったらできる」という発想の転換をすることで、感染防止対策をしながら可能な限り予定した行事等を実施しました。外部の方々との交流が制限される状況においても、児童生徒達がコンテストや作品展などで活躍する場面が数多くありました。

令和2年度から、段階的に新学習指導要領に沿った教育活動を実施することとなり、本校においても各教科等の指導内容を計画的に単元・題材に位置付け、資質・能力の3つの柱のバランスを考えた授業づくりに取り組んでいます。今後も、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実により一層努めて参ります。

さて、令和4年4月には伊達地区、その後、安達地区にも新たな特別支援学校が開校予定となっています。伊達地区においては、昨年11月に起工式が行われ、校舎の建築が進んでいます。このことにより、県北地区における特別支援教育の充実・発展が期待される所であり、本校はその中心的な役割を果たすことが期待されています。

今後も、本校は、地域と共に歩む学校をめざして参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大笹生支援学校校長 丹野 好恵

### 小学部

今年も「まないた山ゆうびんきょく」の学習で、5年1組、5年2組、6年1組の児童が大活躍。はがき作り、消印押し、仕分けや配達など、仕事に取り組む姿が輝いていました。小学部の児童がたくさんの年賀状をかいて、大好きな友達や先生と気持ちを伝え合う機会となりました。



### 中学部

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、学習活動や行事の内容や日程を変更して行ってきました。6月予定の修学旅行は12月に1泊2日でいわき方面に変更して実施しました。1日目は「いわき市石炭・化石館ほるる」「ワンダーファーム」、2日目は「アクアマリンふくしま」「いわき・ら・ら・ミュウ」へ行きました。見学・体験学習を通して友達や先生方とたくさんの楽しい思い出ができました。



### 高等部

2月9日(火)に、卒業生を送る会を行いました。メインとなる各学年の出し物は、笑いや楽しさの中にも学習の成果も盛り込んだ内容でした。今年は、感染症予防のため、一堂に会することを避け、リモートを活用しましたが、会場装飾やエールメッセージ、卒業生紹介などに卒業を祝う在校生の気持ちが表れ、心温まる会になりました。



(学校だよりはHPでもご覧いただけます。)